



令和5年3月
 編集・発行 印西市芸術文化協会
 TEL 0476-33-4714

第二十七回 印西市民文化祭 及び
 オンライン文化祭実施



囲碁大会風景（総合福祉センター）

オンライン文化祭実施



印西市芸術文化協会
 会長 岩井 義春

印西市が最近人口十一万都市に成長しましたが、その間豊かな自然を残しつつ、インフラの整備商業施設の充実等発展を遂げてまいりました、更に求められるのは、日常の生活に潤いと心の豊かさではないでしょうか。

市内には多くの、カルチャースクール・サークル・同好会等があり、趣味として日常と違う感性の発露により得られる達成感を仲間の人達と共有出来ることは、大きな喜びとしてさらなる高みへの足掛かりになるのではないのでしょうか。

芸術文化協会には十四の部門があり、皆様とともに活動出来る事は、印西市の文化振興につながるものと確信しております。同時に、人生を共に歩める趣味に出会って頂ければ幸いです。



印西市長 板倉 正直

平素より印西市芸術文化協会会員の皆様方には、市の芸術文化の振興に並々ならぬご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。コロナ禍において、芸術文化活動が思うようにできないという状況が続いておりましたが、今年度は行動制限もなく、ほぼ例年通り印西市民文化祭を開催していただきました。

文化祭の開催は、多くの市民の心を癒し、感動を与えるものであり、ご協力いただいた会員の皆様方に、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

今後も芸術文化が人々の活力の源となりますよう貴協会のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

市といたしましても、引き続き市の施策であります「文化・芸術活動の推進」に努めてまいりたいと考えております。

結びに、来年度は、印西市芸術文化協会の創立三十周年を迎え、印西市芸術文化協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍とご健勝を祈念いたしております。



舞踊協会

山口 里江

印西市舞踊協会と名前を変更致しまして、今年で第二回目となります。「舞踊の彩典」を、六月十八日(日)に開催し、会員を初め市長にも参加頂いて、重苦しいコロナ禍を乗り越えられる様頑張りたいと思います。さらに七月二日(日)には四街道に於いての文化フォーラムへの参加を予定しております。いかなる時代や世界中のあらゆる地域においても、踊りは欠かすことの出来ぬ文化として存在しております。近年は若者を中心にダンスがもてはやされることが多いなか、長い歴史に育まれた日本舞踊は日本人の心のよりどころとして発展継承されてきました。



能楽連合会

仲元 俊二

謡曲を始めませんか。こう聞かれると、多くの人は「うーん、古くさい」「何か眠くなりそうだな…」などと、思われるかもしれません。しかしこれは日本で最も歴史の古い伝統芸能なのです。室町時代以来、今日まで六百五十年続き、ユネスコの無形文化遺産に一番初めに登録されました。謡曲はお腹の丹田に力を込め、思いつきり声を張り上げて歌います。これほど健康にいいものはありません。言葉に節をつけた謡曲に合わせ、シテ役やワキ役のセリフや舞によって物語が進行してゆきます。古典芸能の世界に浸りつつ、健康を増進する。老いも若きも大歓迎。ベテランもいれば初心者もいます。老若男女、和気あいあいのうちに月二回練習しています。



茶道連盟

五十嵐まゆみ

「掛け物について」茶席の床の間には掛け物、主として墨蹟物をかけます。墨蹟とは禅宗の有名な和尚の書かれた物の他、茶道の中で有名な茶人、歴代の家元の書いた物、又茶道に縁のある公卿大名方の物、昔の歌集を切つて仕立てた歌切れ等です。ではどの様に掛け物を選ぶかという、その催しの季節に合う語句であるとか、内容がそのテーマにあっているか等で決めます。茶道においてテーマを表現する上で、掛け物は重要なアイテムの一つとなります。

華道連盟

岩永 美月

夏には小さな白い花を咲かせ、晩秋から冬にかけて緑の葉に赤い実を付ける南天は、平安時代に中国から伝来し、「難を転じて福となす」の語呂から、古くから縁起物として親しまれ、薬効、食材の殺菌防腐効果もあり、日本人の生活に寄り添った植物の一つです。江戸時代には、水仙と南天を描いた天仙図がもてはやされ、華道の世界でも正月花材の一つとして大切に伝えられてきました。日本の歳時記と深くかかわりながら歩んだ華道の歴史を、今こそ若い世代にも伝えるべく、華道連盟では、重鎮の大野会長を中心として精進してまいります。



囲碁連合会

横田 哲郎

コロナは丸3年が過ぎました。中央福祉センターでの連合会月例会、木刈・高花・小林・木下の各地域での地区大会、日々の練習会はコロナ対策を行いながら対局ができるようになりました。昨年の文化祭には41人の参加があり、久々に盛会となりました。しかし、囲碁・将棋の有志での泊まり込み大会は、開催にいたっておりません。これは幹事さんの大変な努力により開催していただきました。関東地域の温泉に2泊3日でリーグ戦を行うのです。朝昼晩好きな時間に温泉に浸かり、夜はカラオケ大会もあります。文化祭の次に楽しい大会です。コロナが終息し、この大会が再開できるとブラボーです。



邦楽邦舞協会

渡邊 俊子

令和四年八月「いんざい邦楽邦舞こども教室」を開講致しました。令和六年開催予定の「邦楽と邦舞」公演に出演することを目標に、日本舞踊の基礎・着付け・所作等お稽古を始め、今年、市民文化祭へも参加致しました。第12回「舞う弾く打つ」では、望月彦聖先生をお招きして「邦楽お囃子体験」を開催し、小鼓・太鼓の打ち方、演奏など邦楽楽器に触れる貴重な経験となりました。今後継続して行いたいと思えます。子供教室では、次世代を担う子供たちと保護者の皆様と共に、楽しくお稽古しております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせお待ちしております。



絵画協会

江川 貞夫

コロナに脅され2年ほど市内から一歩も出られず、絵の題材を探すのも難しい状態が続きました。

もう一つの心配は、団体の解散や個人会員の脱退などで、会員が減少してきていることです。そんな折、4年度絵画展において、ラーバンネットから全作品を写真に撮り(一枚毎)、テレビ放映したい旨の打診がありました。協会として異存はないので了承し、放映してもらいました。

ラーバンとは市の文化祭も含め協会の行事案内を提供し、今後も放映することを約束していただきました。

これからも、いろんな機会を見つけ協会の存在をアピールし、会員の獲得に寄与すると同時に、会員の皆様に喜んでもらえる方策を考えています。

将棋連合会

大脇 孝夫

プロ棋戦でマスク不着用による反則負けという珍事が起きました。禁じ手によるものならともかく、ファンの間でも物議をかもしています。日本ではマスク美人とか、マスクを外すのは顔をさらすようで嫌だという人が現れたり、マスク姿がすっかり定着しています。不便でも使い続けることで、文化にしてしまうという特質が日本人にはあるようです。

当連合会の対局でもマスクはもちろん、テレビ将棋のように透明の衝立を置いています。今や衝立無しでは気分的に勝負モードになれません。



民謡連合会

齊藤 詔一

三年ぶりの舞台発表を心配しながら稽古し実施出来、喜びと満足感を得た年となりました。六月恒例の民謡民舞大正琴チャリテイションは、今迄にない新鮮な気持ちで発表しました。

十一月五日文化祭イオンにおいて午前津軽三味線と歌、午後大正琴の演奏には、買い物途中で足を止められたお客様から拍手を戴きました。同月十三日文化ホールにおいて催された民謡の集いには、特別出演の歌手高城靖雄氏を招き、加えて板倉市長の舞踊も花を添えて戴き、盛り上がりのあった大会となりました。



短歌連盟

三ツ木 絹江

印西市短歌連盟は現在、水辺、山岳及びびこすもすの三短歌会よりなっています。

昭和四十五年二月、斎藤茂吉の高弟で、短歌結社「歩道」を主宰する佐藤佐太郎の来町がきっかけとなり、早くも四月には第一回町民短歌会が開催されました。翌年三月には途中途切れることなく今に続く『印西短歌』(現在五二号)が発行されました。

三短歌会では毎月一度の歌会を開き、三月には陽春短歌大会を、秋には市民短歌大会を開催しています。市民の皆様のお待ちしています。



俳句連盟

松井 脩

人智を超えた自然への感動、日々の営みの中の新しい発見、生きていくことの幸せへの共感などを皆で共有する「句会」を行っております。四つの俳句会が活動してありますが、年間行事として「市民文化祭俳句大会」「いんざい俳句大会」を開催し、俳句愛好者への参加を募っております。

- 木下手賀野俳句会 毎月第三日曜 十三時〜 中央公民館
- 向日葵俳句会 毎月第四日曜 十三時〜 中央駅前地域交流館
- あけぼの俳句会 毎月第二月曜 十二時半〜 サザンプラザ
- ファミリア俳句会 毎月第二金曜 九時半〜 本塾ファミリア館

書道協会

岩井 義春

書道に親しみ、作品の制作に精進されている方も多く思いますが、折角の作品を大勢の方に見て頂く機会をお持ちでしょうか。高みを目指し、県展等の書道展に出品されている方、また趣味として書作を楽しまれている方もいらつしやるでしょう、そんな皆さんに発表の機会を提示出来る様当協会では、市民文化祭の参加と年一度の会員による書道展での展示を行っています。

愛着のある力作を発表する楽しみを持たれてはいかがでしょう。趣味を同じくする多くの方の参加をお待ちいたしております。



園芸文化協会

青柳 文明

昨年は、相変わらず新型コロナウイルス禍の不安な環境下で、社会の生活が必然的に様々な自粛要請が続いていましたが、印西市民文化祭が教育委員会、芸術文化協会の協力にて計画通り開催されたことに感謝いたします。

園芸文化協会の陶遊会、盆栽愛好会も環境の中で年間計画された行事も、関係者のお力添えで予定通り開催する事が出来ました。

今年も一日も早くコロナ禍の終息を願い、印西市芸術文化協会の繁栄に会員一同協力していきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。



歌謡連合会

稲村 清子

歌謡連合会は三年ぶりの文化祭にて発表会を開催することが出来ました。コロナで歌の練習もなかなかできなかったかと思いましたが、大勢の方々のご参加を賜り、開催して良かったと大変ありがたく思っております。

ゲストにはしろいふるさと大使でもある大杉一男氏をお招きし、歌唱指導もいただきました。好評でしたが、もっと指導してほしいとの声もあり、次回の運営に活かしたいと思います。令和五年度の文化祭では今年度以上の満足度となるよう、役員一同努力するとともに、皆様のご健勝を心より御祈念申し上げます。



「県展」で県知事賞受賞

昨年、第71回千葉県展で清島義司氏（絵画協会会員、72歳、印西市内野）が県知事賞を受賞されました。県展賞、県美術会賞に次ぐ賞で、今後の活躍が大きく期待されます。



受賞作「Wait a second」

千葉県教育功労者表彰受賞

印西市芸術文化協会が、令和四年十一月一日（火）に、千葉県教育庁より芸術文化の部にて団体功労表彰を受賞しました。

奇しくも令和五年度は、当協会の創立三十周年の節目の年に当たり、今回の受賞は設立以来の諸先輩方の市の芸術文化に対する熱意ある活動が評価されたものと、その尽力に敬意を表すとともに感謝いたしております。

今後も印西市の文化の発展と事業の継承に努めてまいりますので、ご支援宜しくお願い申し上げます。



文化フォーラムの開催

印旛郡市文化団体連絡協議会主催文化フォーラムが、令和四年七月九日（土）に文化ホールにて開催されました。これは近隣の七市町が加盟する団体が毎年持ち回りで文化交流のため行われる行事で、今回は印西市が担当となりました。

当日は歌や踊り等十三のプログラムが生まれ、当協会からは民謡連合会、邦楽邦舞協会、歌謡連合会が参加し大変盛り上がりの中、無事終了することができました。

次回は、四街道での開催が予定されておりますので応援の程よろしくお願い致します。



第27回 令和4年度 印西市民文化祭 開催

2022年10月25日～12月6日 芸術文化協会会員および印西市民の参加による文化祭が5会場にて開催され、多くの参加者で盛り上がりを見せました。



ふれあいセンターいんば
(健康マージャン)



文化ホール
(合唱 舞踊 邦楽 能楽 歌謡 民謡 ダンス 園芸 陶芸)



中央公民館
(短歌・俳句大会)



イオンモール
(絵画 写真 書道 俳画 俳句 華道 けん玉体験等)



総合福祉センター
(囲碁・将棋大会)

印西市芸術文化協会 14 団体

各会長連絡先

囲碁連合会	横田 哲郎	(42-6243)	書道協会	岩井 義春	(42-6425)
園芸文化協会	青柳 文明	(42-3618)	短歌連盟	三ツ木絹江	(42-2184)
絵画協会	江川 貞夫	(33-7001)	能楽連合会	三城 康熙	(42-7474)
華道連盟	大野 容子	(42-2710)	俳句連盟	松井 脩	(47-6776)
歌謡連合会	稲村 清子	(42-3128)	舞踊協会	和田 敏子	(46-3523)
茶道連盟	五十嵐まゆみ	(42-2246)	邦楽邦舞協会	渡邊 俊子	(47-3721)
将棋連合会	大脇 孝夫	(46-4020)	民謡連合会	伊藤 敦子	(46-1691)